

縮小社会における社会的企業と生業創出にかかわる社会的基盤に関する考察

【概要】

中山間地域における担い手形成と生業創出を実践的に考察するにあたり、主に「暮らしの再生」というテーマに絞り込むことにする。そのために、以下に示す、社会的企業、NPO、地区住民の活動などと連携し、現場において起ち上がっている取り組みから、モデル化を試みることにする。本プロジェクトの活動を蓄積し、将来的には、論集の出版や智頭町など鳥取県内における住民による地域づくりの取り組みへの寄与を展望している。なお、2013年6月26・27日に、日本ボランティア学会と連携したシンポジウムの企画を立案し、開催した。

【キーワード】 社会的企業、生業創出、暮らしの学校、ボランティアな生き方、担い手の視点

【参加メンバー】 家中茂（全体コーディネーター。各連携先との調整）

仲野誠（「私」の視点から地域学とボランティアな実践について考察）

竹川俊夫（福祉の視点から地域学とボランティアな実践について考察）

小泉元宏（アートの視点から地域学とボランティアな実践について考察）

福田恵子（生活の視点から地域学とボランティアな実践について考察）

柳原邦光（歴史の視点から地域学とボランティアな実践について考察）

澤田廉路（中山間地域における未利用資源の活用という視点から
ボランティアな実践について考察）

【計画】 2013年（1年目）：地域協働連携先の取り組みについてのフィールドワーク。ボランティアな生き方をめぐる「地域学」と「市民知」の交差をテーマとしたシンポジウム企画など。

2014年（2年目）：地域協働連携先の取り組みについてのフィールドワーク。地域協働連携先と共催によるミニフォーラム企画など。

2015年（3年目）：地域協働連携先の取り組みについてのフィールドワーク。本研究プロジェクトから見た「地域学」の新たな展開についての論集・レポート企画など。

【予算】 主として、地域協働連携先のフィールドワークのための旅費。シンポジウムやフォーラムの記録作成経費。シンポジウムやフォーラムの講師旅費。文献資料費。

【地域連携先】 ①「他郷阿部家」（代表：松場登美） 島根県大田市大森町 <http://www.takyo-abeke.jp>
②「まるやま組」（代表：萩野由岐）石川県輪島市三井町 <http://maruyamagumi.blog102.fc2.com>
③NPO 法人グリーンバレー（理事長：大南信也） 徳島県神山町 <http://www.in-kamiyama.jp>
④NPO 法人土佐の森・救援隊（理事長：中嶋健造）高知県の町 <http://tosanomori.exblog.jp>
⑤鳥取県智頭町、各地区振興協議会
⑥鳥取市鹿野町「株式会社ふるさと鹿野」（鳥取市鹿野町）
⑦いなばのジビエ推進協議会
⑧鳥取県鳥取力創造課